



この新聞は、財団法人 河川環境管理財団の助成金を受けてつくられています。2001. 11作成



オイカワという魚です。



トウキョウダルマ

新治小学校副校長 和泉良司

### 生きもの調査報告

短い時間で、それも低学年の子どもが中心になって調べたにもかかわらず、生物の種類数が多いことに驚く。特に魚類では貴重種である、ホトケドジョウの個体数が多いことが特徴となっている。また、タイコウチ、トウキョウダルマガエル（トノサマガエルと言われることがおおいが別種）など、市内ではほとんど見られなくなった水辺の生物が見られるのは、梅田川の豊さを表している。



### こども・川と森の日 生きもの調査報告

分類	種名	捕獲数
魚類	ホトケドジョウ	36
魚類	オイカワ	12
魚類	シマドジョウ	7
魚類	ギンブナ	4
魚類	モツゴ	4
魚類	タモロコ	3
魚類	ドジョウ	3
魚類	アブラハヤ	2
魚類	メダカ	1
魚類	グッピー	1
両生類	トウキョウダルマガエル	4
両生類	アカガエル	2
両生類	ツチガエル	1
昆虫	サナエトンボ、やご	5
昆虫	タイコウチ	4
昆虫	オニヤンマ、やご	4
昆虫	ギンヤンマ、やご	1
昆虫	ヘビトンボ、幼虫	1
甲殻類	アメリカザリガニ	62
甲殻類	ヌカエビ	15
貝類	カワニナ	17
貝類	オオタニシ	2
貝類	サカマキガイ	1
貝類	マシジミ	1
合計		193

梅田川 新治小付近～杉沢堰  
2001年 7月21日実施

### これからの活動計画

#### 「梅田川をまるかじり」

12月8日(土)、第4回「梅田川をまるかじり」を開催します。今年は、10月14日の稲刈りが終わった加藤さんの田んぼの収穫祭も兼ねて、「お餅つき」、わらを使った「しめ縄」「納豆づくり」の体験も予定しています。広報よこはま「みどり」区版11月号を、よく見て申し込んで下さい。

#### 「川講座」と「市内の水辺見学会」

整備された梅田川の利用・管理、「子どもたちの遊び」や「生物の生息環境」などを考えたエリアわけ、川沿いの除草の仕方など、水辺を歩き、講師の話を聞いて学習しながら、計画をつくる「川講座」を開催します。参加者を、広報よこはま「みどり」区版12月号で公募し、ワークショップとして1/19(土)の午後開催します。

水辺見学会は、2/23(土)の朝から、車に乗って和泉川、いたち川などを見学し、水辺愛護会の方々と交流します。是非、参加してください。

### 編集後記

去る9月30日、「よこはま川のフォーラム2001」が「瀬谷長屋門公園」を会場として開催され、水辺の楽校協議会から5名参加しました。今年で3回目の出展ですが、間近になって展示パネルを製作するため、本当に大変でした。今年は、早く準備した甲斐もあって、出来も良く、多少の期待はありましたが、なんと驚いた事に、28団体が出展したパネルコンテストで、4部門中2部門に入賞。「いってみたい賞」2位、「アピールフォト賞」3位を受賞しました。右の写真が入賞したパネルです。企画・制作に参加された皆さんお疲れさまでした。杉崎由直



# 梅田川 水辺の楽校新聞



### 新治の現状と今後の方向性

里山は田、畑を中心に生活に欠くことのできない資源を得るために、保全、管理がなされていた。当時、里山(森、田、畑)で働く人達は自然の保護などと言う意識は全くなく、ごくあたりまえに季節毎の作業を何百年と繰り返していたことで、それに適応した動植物の生態系が定着していたのである。

ところが戦後、日本人の生活も少しずつ豊かになりはじめ石油コンロ、石油ストーブが各家庭に備わった頃からであろうか、薪、炭を使わなくなったことでま

雑木林に人の手が入らなくなった。資源を得る場としての魅力を失った里山の山の部分は、折からの土地開発ブームに乗り、次々と削られ、その土は田、畑を埋め住宅地に変わっていったのである。

一方、僅かに残った里山では、効率(作業、生産)の悪い谷間の狭い田は国の減反政策と農家の後継者不足から、手の掛かる田から畑へと変えられていった。開発されずに僅かに残った都市部の里山は、倒木に蔓が絡み、枝払いされない杉櫨林は暗く森は荒れ、谷戸には田がほとんど見られないのは新治も全く同じである。

豊かさや便利さだけを追いつづけてきた日本人が、里山の特に田と雑木林が生態系の上で大きな役割を負っていたことに、ようやく気づき(研究者達は以前より気づいていた。)僅かに残った里山を守ろうと言う活動が今日の里山ブームであろう。

しかし、今、里山を守る活動に参加している人達は、子供の頃に里山で遊んだ人、自分の育った田舎を思い浮かべて参加している人達で大半は50歳代以上である。この活動は里山のある限り続く活動で、若い人達(30代~40代)とその子供達の目を、いかにして里山に向けさせるかがこれからの課題であるが、まず、生態系豊かな里山に復元する事が大事な事ではないだろうか、小動物や昆虫が増え山野草が咲き乱れる魅力ある里山には、きっと多くの人々が足を運びようになるだろうし、継続する上では地権者及び行政のご理解とご協力が不可欠であることを付け加えておく。

近藤卓爾

#### 目次

新治の現状と今後の方向性	1
改修工事について	2
河川改修の現場の声	2
梅田川のほitori いまむかし—その1	2
新治市民の森愛護会のご紹介	3
「子ども川と森の日」	3
第1回川講座	3
生きもの調査報告	4

- #### ハイライト
- 改修工事の現場の声
  - 新連載 梅田川のほitori
  - 新治市民の森愛護会のご紹介
  - 「子ども川と森の日」の写真
  - 「よこはま川のフォーラム2001」に参加



6月の田植え



9月

念珠坂公園から見た梅田川近辺



## 梅田川改修事業について

梅田川改修事業がまもなく完了します。梅田川の改修は、昭和47年に始まり、現在工事中の杉沢堰付近を最後に、大きな工事は今年度で完了する予定です。この29年間で、数多くの方々のご理解とご協力を得て、恩田川の合流点から竹橋上流部までの約2.2kmの河川改修を進めてきました。これらにかかった費用は、国、神奈川県及び横浜市で各3分の1ずつ出し合ってきました。

大雨の度に溢れていた梅田川は、改修により水を流せる断面が6mほどしかなかったものが14mから19mに広がり、最大で1秒間に55m<sup>3</sup>の水を流せることとなり、今後、10年に1回は来ると想定している大雨（時間50mmを越える大雨）に対応できるようになります。

梅田川改修事業の特徴は、多自然型川づくりを早くから取り入れたこと、ワークショップを開いたこと、地域が連携し水辺の楽校協議会が設立され、運営されていることです。その結果は、川で遊び、水辺を散歩すれば、すぐに理解していただけたと思います。改修整備された梅田川は、地域の方に親しまれるだけでなく、将来、環境や土木技術を学ぶときに、きっとお役に立つと思います。下水道局河川設計課 古川芳幸

## 杉沢堰周辺の改修工事の現場の声

梅田川の改修工事で最後まで残っていた杉沢堰周辺の工事を3月下旬から着手しました。着手前に現河道内に生息するホトケドジョウ等の魚類を、梅田川支川の谷戸の水路や新治小学校にある水辺の楽校水族館に移す『梅田川・どじょっこ引っ越し大作戦』を新治小学校の生徒を中心に、付近の住民の協力も得て2月22日に行いました。

4月からは、杉沢堰補修のため、現河道の変更がよぎなくされました。そのため、一本橋のそばで梅田川の水を利用している水田への水供給ができなくなるので、田植えの時期に合わせて、緊急対応としてポンプによる水の供給を実施しました。

また、梅田川は河川環境に配慮した多自然型の川づくりでも、先進的な事例となっており、6月には国土交通省が視察に来ました。 緑土木事務所 山岸二興



保存することになった杉沢堰



工事中の杉沢堰付近

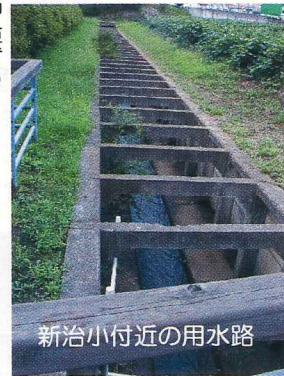
## 梅田川のほとり いまむかし—お滝様のことなど(連載・その1)

むかし、昭和30年頃まで梅田川には、灌漑用の堰が四ヶ所ありました。上流から坂下の念珠橋下の梅田堰（念珠の下の堰）、次が梅田川橋下の杉沢堰・お滝様、それから一本橋よりずっと下の、杉沢団地川岸から神明神社へ登る近道の土橋の下の円城坊（えんしょうぼう）堰、最後は横浜線の鉄橋近くの堰。上の三つの堰は、いずれも三保町のそれぞれの地域の水田に掛かる用水堰で、その耕作者が共同で築き利用管理していました。一番下流の五郎堰は、線路向こうの新治町の耕地に掛かる用水の堰でした。

目下、改修工事中のお滝様・杉沢堰について、この堰は三保町（旧久保）神明谷戸杉沢の田圃に掛かる用水堰で昭和の初めまでは、柴堰とか草堰といわれる土積みの堰でした。束ねた粗朶（そだ）を積み、さらに土俵（使用済みの米俵に土砂を入れたもの）を二、三段積み手前に土砂を落とし込んで、流れを堰止めるものでしたから、毎年堰普請（ぶしん）《土俵を新しく積み直したり、洪水があった年などは底から築き直す作業》をしなければなりません。また、柴堰では高く築けませんから貯水量が小さく、肝心の稲の成育期に十分な用水が確保できず、殆ど慢性的な水不足におちいり水争いなどが起き、果ては不作となりかねませんでした。

そこで、関係者が抜本的な改良・コンクリート堰《その頃恩田川、谷本川（鶴見川）で築かれた》を作ろうということで、旧城寺本堂に集り相談を続けたそうですが、なかなか決まりませんでした。用水を大量に田圃に供給するには堰だけでなく、用水路の堀、溝（漏水が多い）をコンクリート桶状（凹）にしなければ効果はあがらない、工事費は、作業員はどうするかとけんけんがくがくだったそうです。

結局、お金は分担して出す、作業員は交代で出すなどが満場一致で決まり、農閑期を利用したの工事が、完成したのは昭和2年（或は3年）だったと思われます。用水路の一部コンクリート工事は1年位遅れて、杉山下の漏れのひどい部分10m位が施工されました。いずれにしても、この様にしてできた杉沢堰のコンクリート堰完成はまことに画期的なことでした。 つづく 杉崎時秋 三保町出身 1920年生れ



新治小付近の用水路

## 田植えをお手伝いしてくれた「新治市民の森愛護会」のご紹介

私達の新治市民の森は、都市化により開発が進む中で、奇跡的に残された広大な面積の山林と複雑に入り込んだ谷戸に、雑木林を始めとして杉やヒノキ等の大木が随所に見られ、里山の原風景が見られます。去る五月には、NHKの特集番組の中で新治市民の森が、全国に先駆けて里山を守る活動として紹介され、深く感銘いたしました。愛護会の皆様の汗の結晶で、徐々に昔の森が復活できる事を楽しみにしています。愛護会活動に参加し、初めて握った草刈機は何となくごちなかつたけれど、今は堂々と自信に満ちた作業の姿を皆様にも見せたいです。「今日一日、汗をかかしてもらって有難う」の言葉が、自然に出るような楽しみながらの作業です。小一時間もかけ自転車に乗り毎回参加されている方。又、子供の頃、遠い故郷の山をかけ巡った思い出等、雑談の中にも仲間意識が芽生えて微笑ましい会話もあります。〇〇さんは、此処のところ見えないが、どうしたのかなと安否を気遣うような今日この頃です。これからも、お互いに森に対する愛着が自然に培われて、会員皆様の損得なしの活動で、新治市民の森が大きな根を張り張って立派な森として育てていける事を願ってやみません。 新治市民の森愛護会会長 仲丸平八



バームクーヘンづくりを設定してくれた愛護会のみなさん



さあ、愛護会のみなさんのお話しを良く聞いて、親子で竹伐をしましょう

## 「子ども川と森の日」7月21日の写真です！



さあ、はじめますよ



毎回生き物調査を手伝ってくれる魚とり名人の酒巻さんです。



何がとれたかな

今回、協力くださった皆さん  
新治小学校 新治小学校PTA  
ボーイスカウト横浜第125団  
新治市民の森愛護会  
地域住民  
緑土木事務所 下水道局

## 「第1回 川講座・ウォーク」

9月15日に第1回川講座が、新治小PTA主催の「新治の自然を知ろう」ウォークと合同で行われました。杉沢堰周辺の工事、梅田川遊水地の説明、新治市民の森の説明を受けながらウォークしました。



ほんとうにイカダ遊びができるなんて！



流しそうめんだ！

